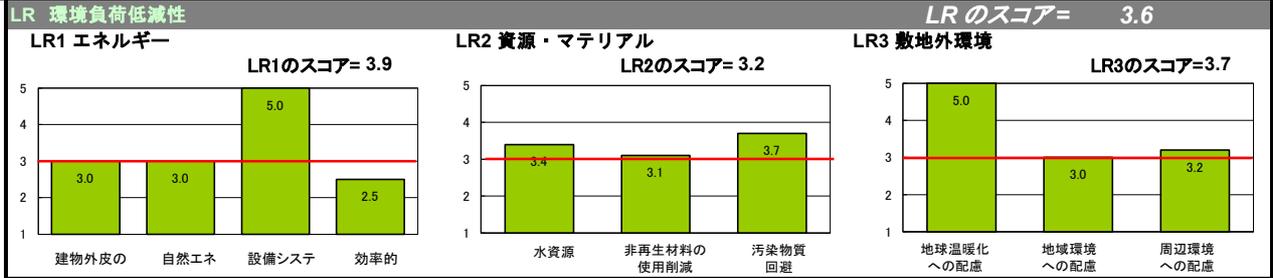
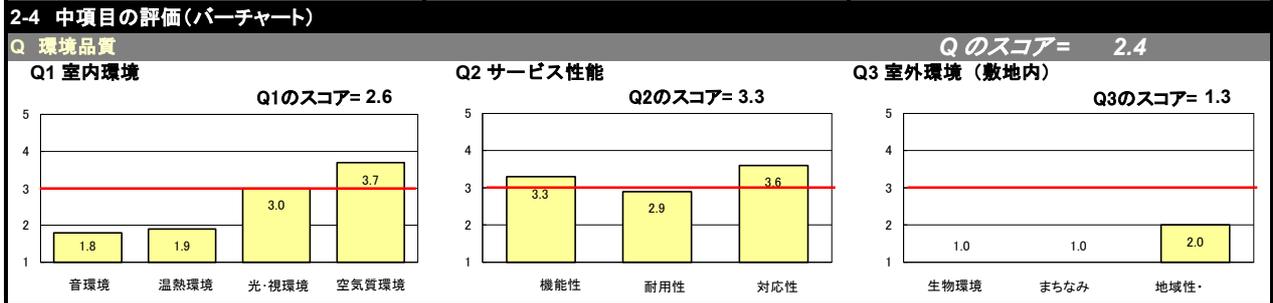
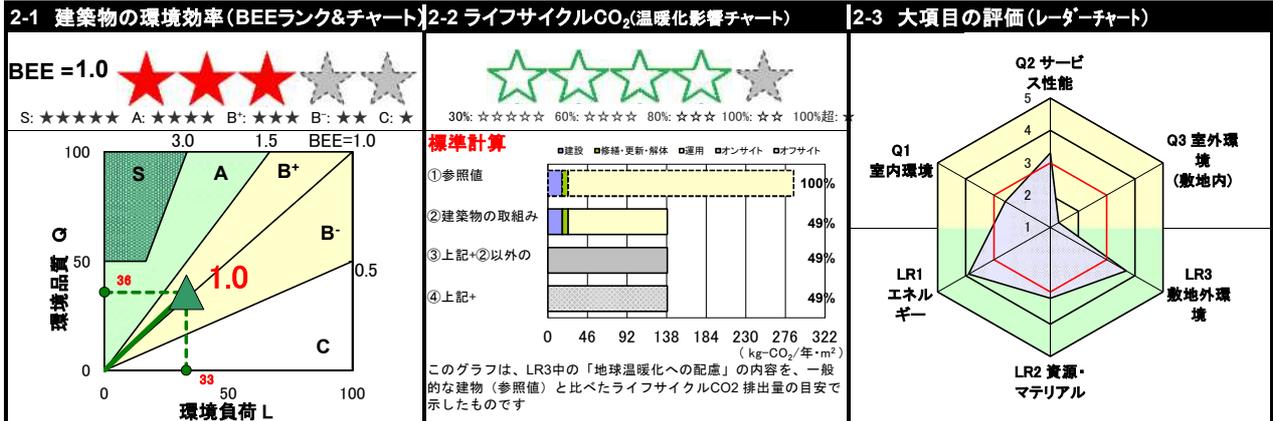
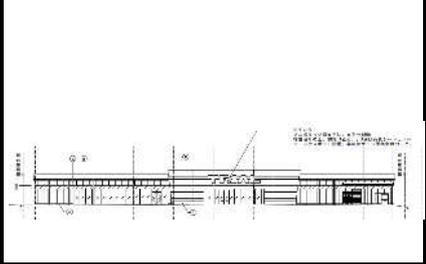


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	TRIAL埼玉深谷川本店	階数	地上1F
建設地	埼玉県深谷市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	3,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2025年4月17日
敷地面積	15,183 m ²	作成者	株式会社河村佐藤デザイン
建築面積	5,509 m ²	確認日	2025年4月18日
延床面積	5,366 m ²	確認者	株式会社河村佐藤デザイン



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>周囲との景観の調和やまちなみへの潤いを生み出すために、アクセント色を極力小さく計画した。道路面からの圧迫感に配慮し、後退した位置へ建物を配置し、平屋の計画とした。</p>	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>F☆☆☆☆建材を使用 喫煙所を設け、施設内の空気質環境に配慮</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>作業室の排気口を屋根面に向け、空気質環境を考慮した。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>屋根材に断熱性能のあるものを採用した。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、出入口付近での車両の軌跡検討を行い、周辺の交通負荷軽減に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
TRIAL埼玉深谷川本店

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.4	
Q1 室内環境					0.40		-	2.6	
1 音環境				1.8	0.15		-	1.8	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				1.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				1.0	1.00		-		
2 界壁遮音性能					-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音				1.0	0.20		-		
2 温熱環境				1.9	0.35		-	1.9	
2.1 室温制御				2.8	0.50		-		
1 室温				3.0	0.50		-		
2 外皮性能				2.0	0.17		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-		
2.3 空調方式				1.0	0.30		-		
3 光・視環境				3.0	0.25		-	3.0	
3.1 昼光利用				3.0	0.50		-		
1 昼光率					-		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	1.00		-		
3.2 グレア対策					-		-		
1 昼光制御					-		-		
3.3 照度					-		-		
3.4 照明制御				3.0	0.50		-		
4 空気質環境				3.7	0.25		-	3.7	
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を使用		4.0	1.00		-		
4.2 換気				3.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.50		-		
2 自然換気性能					-		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50		-		
4.3 運用管理				4.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		喫煙室の設置		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-	3.3	
1 機能性				3.3	0.40		-	3.3	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性					-		-		
2 高度情報通信設備対応					-		-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.6	0.30		-		
1 広さ感・景観		天井高:3.9m以上(平均5.05m)		5.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33		-		
3 内装計画		取組3つ		4.0	0.33		-		
1.3 維持管理				3.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		①②防汚性の高い建材 ③水を利用して洗浄可能 ⑤一次扉と二次扉の距離確保 ⑥維持管理方法が大きく異なる床材の接近なし ⑧水切り		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-	2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上を使用LEは不使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		

2.4 信頼性			2.6	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高: 3.9m以上 (5.550m)	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 < 0.1 (0.06)	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる(ケーブルラック、PF管)	5.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる(ケーブルラック、PF管)	5.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	1.3
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40		-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.44	5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用			2.5	0.20		-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		節水水栓、節水型機器	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60		-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		トイレ床:ビニル床シート貼 PH-8527(田島)	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		・内装材と設備が錯綜せず、容易に取り外し可能(LGS下地)	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤使用なし	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.7
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率: 48%	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	I 1) 駐輪スペースの確保 II 1) 駐車スペースの確保 II 2) 荷捌き用車両施設の確保 II 3) 渋滞緩和の配慮	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	

3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-
1	騒音	3.0	1.00	-	-
2	振動	-	-	-	-
3	悪臭	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-
2	砂塵の抑制	-	-	-	-
3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-

「光害対策ガイドラインチェックリスト」「広告物照明における配慮事項」の過半を満たす

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	TRIAL埼玉深谷川本店	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	--------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
5.0	+	2.0	=	7.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	5.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	5.0
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			

: 入力欄